



学校だより
【第1号】
令和5年4月10日(月)
石巻市立石巻小学校

今年春の訪れが早く、満開の桜の中での令和5年度のスタートとなりました。「今年度はいい1年になるよ」とたくさんの桜の花が教えてくれているかのようです。4月1日から、マスクの着用を求めないことが基本となったのも気持ちを少し晴れやかにしてくれました。その場の状況や感染への不安感などに応じて、自分で着用する判断をすることもありますが「マスクは必ず着用しなければならない」と強制されていた時と比べると、ずっと心も体も楽になった気がします。感染症の状況にかかわらず、学校では今後も子供たちの「安全・安心」を第一に考えた上で、一人一人の力を伸ばしていきたいと思えます。

さて、本校には「校訓五箇条」というものがあります。これは、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指し、日々人間として成長していくことを願い、本校第11代校長：錦織玄三郎先生が明治39年に制定したものです。本校の教育活動の柱であり、子供たちの行動や考え方の拠り所となるよう指導しています。

「校訓五箇条」

- 一 げんきよくせよ (心身共に健康であること)
- 一 まじめにせよ (勤勉であり、誠実であること)
- 一 ひとりでせよ (自主的・自律的であること)
- 一 よくこらえよ (忍耐強くあること)
- 一 しかとおぼえよ (学業に打ち込むこと)

【「校訓五箇条」に盛られたことばの語源・語義】

「げんき(元気)」

- ・進んで物事をやろうとする気力。
- ・活動のもとになる力があふれている様子
- ・体の調子がよいこと。・勇気。

「まじめ(真面目)」

- ・本気であること。うそや冗談でないこと。偽りがな
- いこと。
- ・真心を込めること。誠実なこと。
- ・何事にもひたすら一生懸命に取り組もうとする様子。

「き(気)」

- ・人間の精神の外に現れるもの。
- ・行動への意欲。物事を成し遂げるために心を支え動かす力。
- ・気概、気鋭、氣勢、気力、根気、覇気。

「こらえる(堪える)」

- ・苦痛や不満などによって失われそうになる心。身の安定を保とうと努力すること。
- ・がまんすること。こらえること。もちこたえること。
- ・ものに打ち勝って任に当たること。
- ・感情などを表に出さないこと。

「おぼえる(覚える)」

- ・経験したことや習得したことを忘れないものとして心にとどめること。
- ・体得すること。身に付けること。迷いを去って、真理を知ること。

【御挨拶】

令和5年4月1日付けで、石巻小学校の校長を拝命しました 新井雅行 と申します。昨年度は、宮城教育大学附属中学校の校長を務めておりました。小学校は初めての勤務となりますが、義務教育9年間のつながりを大切にしながら教育活動に取り組んで参ります。

本校は、保護者の皆様はもとより、地域の方々に支えられた歴史と伝統のある学校と認識しております。子どもたちが、地域の中で伸び伸びと、そしてよりよく成長していきますよう、本校の教育活動に対しまして、今年度も変わらぬ御理解、御支援をよろしくお願いいたします。